

令和4年10月5日
旭川地方気象台

旭岳の「初冠雪」を観測しました

本日10月5日、旭岳の初冠雪を観測しました。

今年の初冠雪は、平年（9月25日）と比べて10日遅く、昨年（10月6日）と比べて1日早い観測となりました。

●天気概況

10月5日は、北海道の上空1500メートル付近に11月上旬並の寒気が入り、旭岳山頂付近では雪となりました。

●初冠雪の観測について

冠雪とは、山頂付近にかぶさるように降り積もった雪のことをいい、初冠雪とは8月1日から翌年の7月31日までに初めて冠雪が確認できたことをいいます。旭川地方気象台では、大雪山系の旭岳の初冠雪を記録しています。ただし、山頂付近が積雪となっていても、雲に覆われていたり、視程が悪いなどの理由で、旭川地方気象台から山頂や中腹の状況が確認できない場合は、初冠雪とはなりません。

＜参考資料＞

昨年（令和3年）の初冠雪	10月 6日
初冠雪の平年値	9月 25日
初冠雪の最早（最も早い）	9月 6日
初冠雪の最晩（最も遅い）	10月 15日

＜早い記録の順位＞

1位	9月 6日	大正 14 (1925) 年
2位	9月 7日	昭和 22 (1947) 年
3位	9月 8日	昭和 53 (1978) 年
4位	9月 9日	昭和 10 (1935) 年
5位	9月 9日	明治 39 (1906) 年

＜遅い記録の順位＞

1位	10月 15日	平成 16 (2004) 年
2位	10月 14日	平成 24 (2012) 年
3位	10月 8日	平成 6 (1994) 年
4位	10月 7日	大正 8 (1919) 年
5位	10月 6日	令和 3 (2021) 年

【観測開始：1888（明治21）年】